

稲田の子

貴重な声が学校を変える！ご協力ありがとうございました 学校改善に向けた保護者アンケートを受けて① 結果編



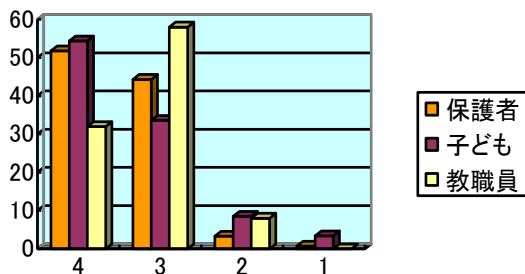
保護者のみなさまの貴重なご意見を寄せられる学校アンケート。今年度も回収率が70.0%ほど。お子さんの通う稲田小学校への関心の高さは引き続き維持されていることがうかがえると同時に、期待の大きさを感じさせる結果に身が引き締まる思いです。今年度も保護者のみなさんへのものと、子どもたちへのものとそれぞれのアンケートを、教職員の自己評価とともに三者の意識をクロスさせながら集計するなど、より学校改善に生かしていけるような結果の集計と分析を進めました。

既に学校では年度末の反省と新年度に向けてアンケート結果を生かした協議を進めていますが、今後も保護者のみなさんと連携し、子どもたちのために教育活動に取り組んでいきます。ご協力ありがとうございました。

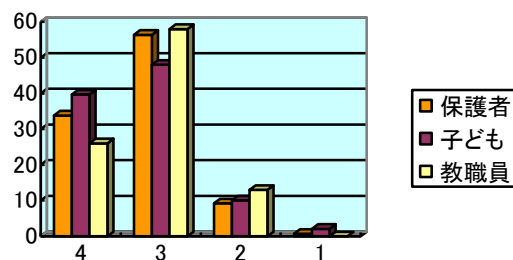
(評定～4：よい、とても思う 3：だいたいよい、そう思う 2：あまりよくない、思わない 1：よくない、思わない 縦軸単位はパーセント)

保護者・児童・教職員アンケート結果

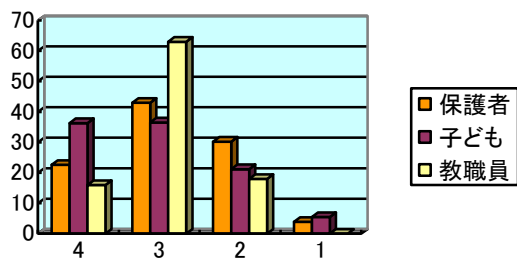
①楽しく学校へ行く



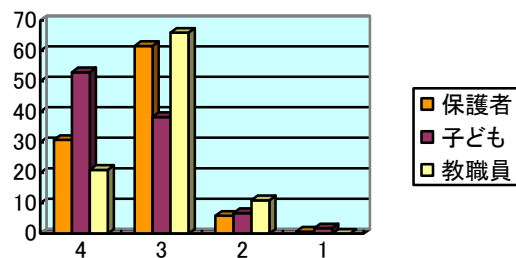
②学習への意欲・取組(学校)



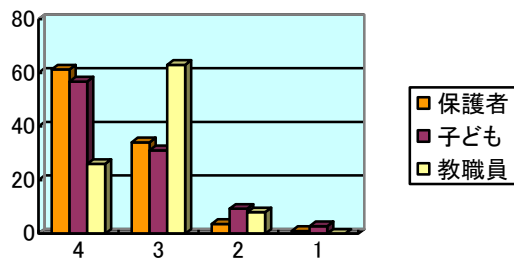
③学習への意欲・取組(家庭)



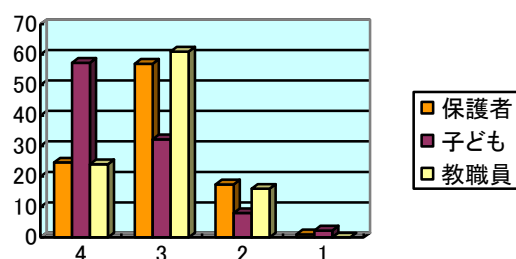
④授業の工夫 わかりやすい授業



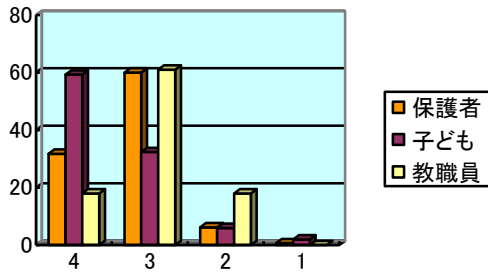
⑤学校行事への参加の様子



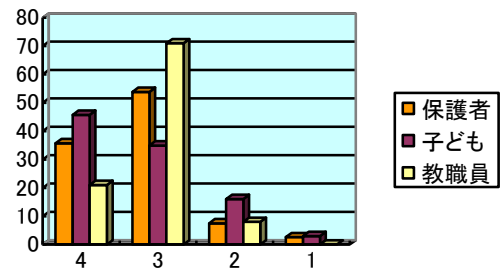
⑥あいさつ等生活習慣



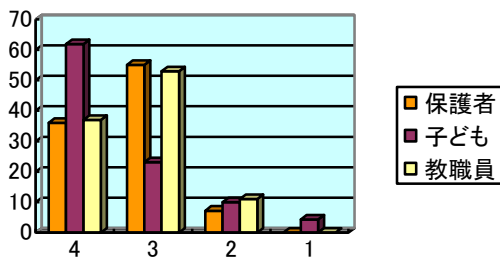
⑦ 友達関係と心を育む指導



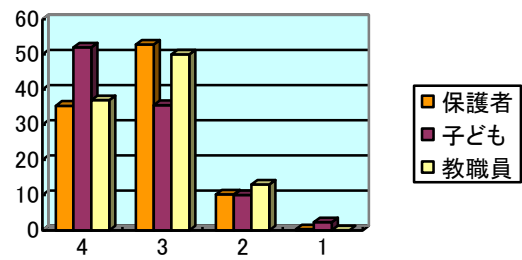
⑧ 子どもへの声かけと学級づくり



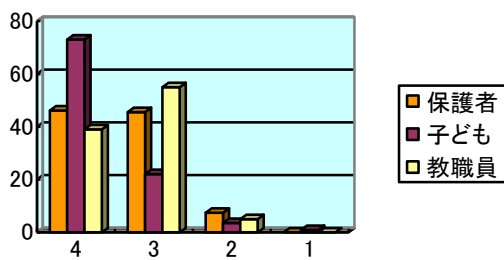
⑨ 体力づくりの取組と指導



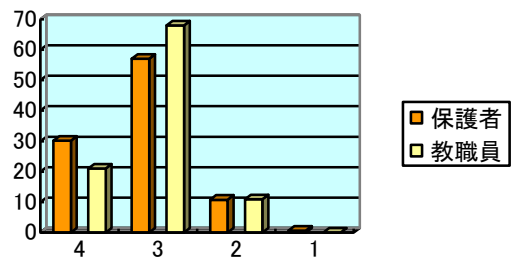
⑩ 施設設備・学習環境の充実



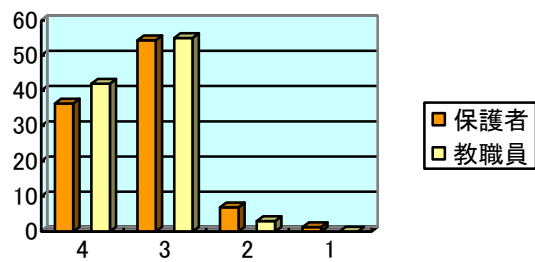
⑪ 交通安全指導,事故防止対策と意識



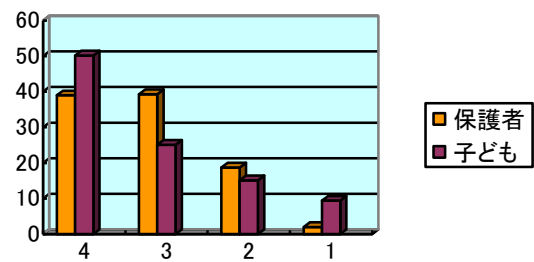
⑫ 学校の相談対応と保護者との連携



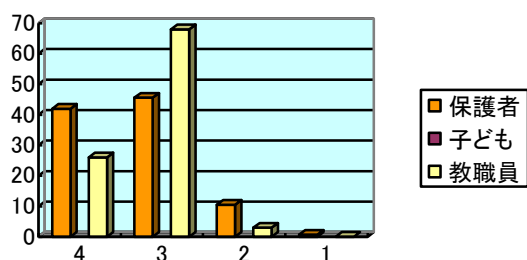
⑬ 学校の情報発信状況
(通信・ホームページ)



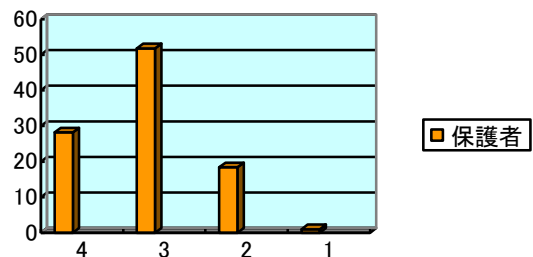
⑭ 家族の対話 学校の話



⑮ 参観日等家庭・学校の連携



⑯ 子どもの生活習慣



稲田の子

学校改善に向けた保護者アンケート結果を受けて② 考察編



No.37「稲田の子」の続きです。結果全体を総じて、昨年度にも増して4、3の評価が多く見られています。

1、2の評価にもしっかり目を向けながら評価項目の内容をふまえ、より細やかにお子さんの姿を通して、学校を見ていただいた上での評価であると思います。以下、各項目別の結果を踏まえた学校の考えや今後の方針等についてお知らせします。

- ①子どもが楽しく学校へ通っているかは、日常のお子さんの姿や言葉を通して感じ取られているものとして、今年もおおむね良い評価を頂いています。今年も元気に学校へ通っている姿を見て、子どもが通うことができ良かったと思っていますという声が寄せられています。引き続き子どもたちが「通いがいい」を感じ、また保護者のみなさんにとって「通わせがいのある」そして教職員も「働きがよい、教えがよい」のある学校を目指し、今後もより充実した教育活動を進めていきます。
- ②学校での学習の様子についても、引き続き子どもたちの意欲的な学びの様子について評価を頂くとともに、子どもたちも教職員も意識をもって取り組んでいることがうかがえます。「学年が進んで勉強が分からなくなった」の声も寄せられていることから、一人一人の学びの状況を見取りながら、個別の指導や保護者のみなさんとの連携も一層大切にしていきます。
- ③家庭学習の習慣化については、今年も他の項目に比べて「2」の評価が高めとなっています。宿題をベースとした家庭学習の習慣化が進んでいる一方、学力向上に向けたご家庭の関心はより高くなってきていることが感じられます。「家庭学習ノート等での先生のコメントで子どもの勉強への意欲につながっている」「担任の先生がきめ細やかに勉強を見てくれている」という声も寄せられています。学力向上の基盤は学習意欲と家庭学習です。今一度「家庭での勉強」について、保護者、児童、教職員で意識を共通にしながら、今後も一人一人のやる気につながる指導に心がけていきます。
- ④授業の工夫について、昨年度よりも「授業がわかりやすい」「授業は楽しい」と回答している児童が増えてきています。若手教員の育成にとどまらず、学校をあげて教師の指導力、資質向上に向けた取組が進められています。(メンター交流会等)。今一度授業の進め方や指導と結果に基づいた検証をしながら、他校には見られないほどのたくさんの人員配置「マンパワー」を武器に、「わかる授業の進め方」「指導の型」等を学校で更に共有化し、教師のスキルアップを進めていきます。
- ⑤学校行事では、今年度も多くの子どもたちが楽しく、主体的に参加している様子が見え、教職員も内容の工夫による充実に努めています。来年度平成29年度は30年度からの新しい学習指導要領の全面实施に向けた準備期間になります。学校の方針と具体的な行事とのつながりが明確になるよう、各種行事の厳選や取組時間の圧縮、効率化等の見直しを進めます。
- ⑥あいさつ等の生活習慣については、子どもたちの「できている」「している」という意識が高いほど、保護者、教職員のとらえ方は厳しい結果となっています。あいさつが出来ていないという指摘がある一方、しっかりあいさつしてくれるという声も寄せられています。相手の存在を認め、心と心のかけ橋となるあいさつの大切さは、みなさんが共通して意識されていることです。教職員が自ら進んであいさつをすることも含め、徹底した声かけや授業での取組、特別活動等による啓発を一層大切にしていきます。
- ⑦友達関係と心を育む指導は、結果の向上が見られます。平成30年からの道徳の教科化を見据えた道徳授業研究の他、全ての教育活動における道徳指導を大切にしています。学年が進み、成長による交友関係の広がりとともに、関係性を保ちながらコミュニケーションをとることの難しさも出てきます。今後も生命尊重や思いやりの心を育むため、一人一人の心にしみいるような指導、外部人材の活用等、発達段階と子どもの実態を踏まえたご家庭と連携した子どもに寄り添った道徳授業の充実に努めていきます。

- ⑧児童の相談や発生した問題は、事実関係の把握と解決に向けて、スピード感を大切にしながら的確な対応に努めてきました。また未然防止に向け、日頃から子どもたちへの声かけを大切に教師と子ども、子ども同士の人間関係づくりに努めてきました。「なぜダメなのか」等子どもへの丁寧な説明、見えにくい子どもの内心の見取りや慎重な対応などを求める声も寄せられています。今後も日常の児童・保護者のみなさんに耳を傾けながら、子どもも保護者も何でも相談できる雰囲気、関係づくりに努め、相談対応の一層の充実を図っていきます。学級対応から学年対応、そしてコーディネーターや相談員、担任外・養護教諭などの組織的な対応を大切に相談体制を充実していきます。
- ⑨日頃からの体力づくりについては、「絆を育む学校づくり支援事業」の指定を受け、「わくわくルーム」の設置、活用などあわせ、「プログラム10」の取組やボルダリングの活用等、本校の「体力づくり」により高い評価を頂いています。全国的に子どもの体力の低下が指摘される中、本校の取組の継続的な取組にあわせた経年変化の分析等、より実態に即した取組が必要です。今後も全校的な取組を進める中で、結果の検証と取組の充実を図ります。
- ⑩学習環境は、概ねよい評価を頂いていますが、児童の作品をはじめ各種掲示物の長期短期的な掲示物に留意してきました。築30年を超える校舎ですが、寒暖対策や網戸の設置の指摘もある中、引き続き敷地内も含め、帯広市教育委員会への要望や全面的なバックアップのもと、安心安全で快適な学習環境づくりに努めています。引き続き日常的な点検とともに、整理整頓が行き届いた、清潔で温かみのある教室環境の雰囲気づくりを大切にします。
- ⑪交通安全指導と意識の醸成は、全体により評価を得ています。子どもの安全確保には「ふれあいパトロール」をはじめ、PTAの朝のあいさつ運動等、日頃から積極的な活動がとられています。ご指摘の中では、下校時の交通安全についての指摘や、危険箇所の指摘もありました。学校前交差点の教職員による見守りも進める中、引き続き校区内の安全情報等の共有を進めていきます。「子ども安全ネットワークシステム」による情報配信が日常化され、安全情報の提供等多岐にわたる活用に、多くのご家庭から評価をいただいています。
- ⑫学校の対応と保護者との連携は、諸問題や相談などについては、事実関係を的確に把握し、電話連絡や面談、家庭訪問等、担任だけにとどめないで、学年内の連携と対応、管理職への報告による指示、連絡、相談を徹底し、組織的にスピード感をもって対応に努めてきました。また学校での出来事、軽微なけがも含めて、お子さんが帰宅する前に保護者に連絡をすることについての安心の声を寄せられています。日頃から学校に（担任に）話しやすい、相談しやすい、また学校の様子もオープンにする中で、互いに気持ちをあわせ、子ども、保護者との信頼関係づくり大切にしています。
- ⑬情報発信については、今年も毎日更新のホームページ、そして学校・学年・学級通信をお読みいただきありがとうございます。これまで同様にお褒めの言葉を多数いただいています。今後も、わかりやすくきめ細かな情報発信をしながら、学校からの発行物に興味関心をお持ちいただけるよう、責任をもった情報発信を進めていきます。引き続き時間割等での学習内容の実施時期や内容に食い違いないか、意図が伝わる表記になっているか、誤字脱字はないか、誤解を受けないかなど、校内で二重三重のフィルターをかけた精査に心がけていきます。
- ⑭家族との対話では、お子さんからの声が大きく高まっています。お子さんの言葉に丁寧に耳を傾けていただけているご家庭がより一層多くなっています。子どもの豊かな育みの基本は家庭から。引き続き子どもの声から、言葉から、姿から、学校へのご意見やご支援、そしてご家庭と担任との連携、意思の疎通を意識した取組を進めます。
- ⑮ご家庭の学校参加と家庭と学校の連携については、昨年度以上に参観日等の参加意識は高い評価でした。来年度から開校90周年記念事業の取組がスタートする中、より一層ご家庭の協力が必要です。引き続き、足を運びたいような確かな教育実践、稲田小ならではの特色ある学校づくり、子どもの成長とともに喜び合う中で、絶大なる信頼をご家庭や地域からいただける学校づくりを進めます。
- ⑯生活のリズム等基本的な生活習慣については、昨年度以上に基本的な生活習慣が整って来ている様子がうかがえます。まだ「2」の評価が高いのが気になるところですが、保護者のみなさんの意識が高い表れでもあるととらえられます。ご家庭の協力が進んでいることに感謝申し上げます。「ノーテレビデー」の学校独自の取組への期待の声も寄せられています。テレビ、ゲームの時間など1日の生活のバランスをより意識しながら、子どもたちを育てていきたいですね。

保護者アンケート等の目的は、現在義務付けられている学校評価での自己評価の客観性を高めるために行うものです。

これは不満等をあげつらう場ではなく、お子さんのため、みんなで学校をもち立てていく手がかかりとなるものです。どうぞ今後とも忌憚のないご意見等をお聞かせ頂き、『みんな大好き稲田小』、『揺るぎない信頼獲得に向け、地域・保護者のみなさんと一丸となって取り組む稲田小』、『子どもたちを中心に据え、活力に満ちた笑顔あふれる稲田小』を保護者の皆さんとともにつくっていきたくと考えています。教職員の内部アンケート、児童アンケートとも連動させながら今後の学校改善に結果の活用を進めていきます。